

作成年月	平成26年3月25日
作成部局課室名	企画県民部管理局人事課

## 平成26年度人事異動について

### 【人事異動の基本方針】

「安全元気ふるさと兵庫」のスタートにあたり、重点施策を的確に推進するため適任者を配置した。また、職員の適材適所の配置や人材育成に配慮しながら、一層の女性職員・若手職員の登用を行った。

#### 1 県政課題への適切な対応

第3次行革プランの確実な実施、安全安心の兵庫の実現など重点施策の推進、新たな県民局体制への移行等に適切に対応する。

#### 2 専門的かつ機動的な施策展開への対応

「安心の兵庫づくり」、「人が生きる兵庫づくり」、「産業活力あふれる兵庫づくり」、「地域が元気な兵庫づくり」を専門的かつ機動的に展開する。

#### 3 地域課題への的確な対応

7県民局3県民センター体制への移行に伴い、地域課題に的確に対応し、多様性と地域特性を活かした特色ある地域づくりを推進する。

#### 4 女性職員の積極的な登用

施策の企画立案や事業推進にあたって、女性職員の積極的な参画を進めるため、環境部長やこどもの館館長等に女性職員を登用した。

#### 5 若手職員の積極的な登用

組織・人事の一層の活性化を図るため、ビジョン局長等に若手職員を登用した。

## 人事異動の規模

- ・異動総数は、2,373人（うち役付1,133人）[詳細は別紙]
- ・行革による定員削減の影響などにより、全体の異動数は昨年を下回った。  
（昨年 異動総数2,607人 うち役付1,168人）

## 人事異動の概要

### 1 県政課題への適切な対応

- (1) 科学情報基盤を活用した産学官連携によるイノベーションの推進等  
関西広域連合と連携した関西におけるイノベーションや新たなICT戦略の総合的な推進のため

科学情報局長	落合 正晴（関西広域連合関西イノベーション国際戦略総合特区推進室課長）
情報企画課長	成岡 英彦（少子対策課長）

#### 21世紀兵庫長期ビジョンや地方分権改革の推進のため

ビジョン局長	坂本 哲也（ビジョン課長）
ビジョン課長	内堀 幸造（ビジョン課主幹）
広域調整室長	甘利 英治（総務省自治税務局固定資産税課主幹）

#### 県政推進の全庁的な調整のため

企画県民部長	五味 裕一（消防庁国民保護・防災部防災課国民保護室長）
--------	-----------------------------

#### 第3次行財政構造改革推進方策の着実な推進のため

財政課長	藤原 俊平（新行政課長）
新行政課長	小畑 由紀夫（教委・財務課長）

- (2) 高齢者施策の総合的推進  
高齢者の暮らしや認知症ケアなど高齢者施策の総合的な推進のため

高齢社会局長	成田 貴雄（健康福祉部総務課長）
介護保険課長	齊藤 芳樹（病院局企画課長）

- (3) 安全安心な県民生活の推進  
県民生活と消費生活の安全安心を推進するため

県民生活局長	柳瀬 厚子（生活消費局長）
--------	---------------

#### 暮らしと生活の安全衛生対策のため

食肉衛生検査センター所長	友久 健二（生活消費局参事兼生活衛生課長）
生活衛生課長	池田 正彦（食品安全官）
食品安全官	平野 彰（加古川健康福祉事務所副所長）

## 南海トラフ巨大地震等への対策や災害への対応力の向上のため

防災企画局長	松原 浩二（災害対策局長）
災害対策局長	早金 孝（市町振興課長）
防災企画課長	高見 隆（防災計画課長）
防災計画課長	藤原 祥隆（産業政策課長）
消防課長	森田 克彦（広域防災センター総務部長）
産業保安課長	丸野 修（住宅建築総合センター事務局長）

## 県土の安全・安心を確保する津波防災インフラ整備5箇年計画、社会基盤施設の老朽化対策、社会基盤整備プログラムの改定などを推進するため

県土整備部長	田中 稔（土木局長）
土木局長	糟谷 昌俊（光都土木事務所長）
用地課長	村上 武雄（建設業室長）
道路企画課長	田中 剛（道路街路課長）
道路街路課長	門間 俊幸（九州地方整備局長崎河川国道事務所長）
河川整備課長	岩崎 日出夫（新温泉土木事務所長）
総合治水課長	服部 洋平（街路担当参事）
港湾課長	土江 明（大阪湾広域臨海環境整備センター兵庫建設事務所長）

## 快適な住まいづくりや活力あるまちづくり、豊かな生活環境づくりのため

都市政策課長	藪本 和法（市街地整備課長）
都市計画課長	西谷 一盛（公立豊岡病院組合技監）
市街地整備課長	藤井 望（光都土木事務所まちづくり参事）

### (4) 子ども・子育て施策の総合的推進 出生や子育ての環境整備による少子対策・子育て環境の充実のため

こども政策課長	大西 能成（児童課長）
児童課長	柏原 俊朗（西宮こども家庭センター所長）
こども安全官	荻野 勝己（障害者支援課主幹）

## 2 専門的かつ機動的な施策展開への対応

### (1) 安心の兵庫づくり 生活困窮者支援や障害者自立支援など、暮らしの安心基盤の確保のため

福祉監兼社会福祉局長	柏 由紀夫（社会福祉局長）
障害福祉局長	竹内 良二（中央こども家庭センター所長）
社会福祉課長	入江 武信（障害福祉課長）
生活支援課長	尾山 健司（社会援護課長）
障害福祉課長	上田 賢一（障害者支援課長）
障害者支援課長	関 孝和（観光交流課長）

### (2) 人が生きる兵庫づくり 「芸術文化立県“ひょうご”」の実現を目指した芸術文化施策の展開や「関西ワールドマスタースズゲームズ2021」の開催準備のため

兵庫陶芸美術館副館長	正垣 昭彦（芸術文化協会業務執行理事）
県立美術館副館長	田中 敬一（国際局長）
ワールドマスタースズゲームズ準備委員会事務局次長	齊藤 和満（国際交流協会兵庫県パリ事務所長）

### (3) 産業活力あふれる兵庫づくり 産業力・技術力の充実やオンリーワン企業の創出、地域人材力の充実のため

政策労働局長	古川 直行（県土企画局長）
産業振興局長	竹村 正樹（ビジョン局長）
国際局長	岡田 徹（産業活性化センター常務理事）
産業政策課長	境 照司（労政福祉課長）
労政福祉課長	政辻 孝克（しごと支援課長）
能力開発課長	安部 斉（地域振興課長）
しごと支援課長	大谷 俊洋（洲本市理事）
経営商業課長	法田 尚己（資金財産室長）

### 世界と競える農林水産業を確立するため

農政環境部長	藤原 道生（環境部長）
農林水産局長	新岡 史朗（姫路農林水産振興事務所長）
総合農政課長	寺尾 俊弘（農業経営課長）
農業経営課長	姫野 崇範（農林水産省経営局農地政策課経営専門官）
農業改良課長	中野 晴之（農林水産技術総合センター企画調整・経営支援部長）
農地整備課長	石井 龍太郎（農村環境室長）
農産園芸課長	萬谷 信弘（総合農政課副課長）
林務課長	築山 佳永（豊かな森づくり課長）
治山課長	渡邊 陽（六甲治山事務所長）
漁港課長	坪田 勝幸（姫路港管理事務所長）

## 環境適合型社会の実現、エネルギー対策の総合的な推進のため

環境部長	梅谷 順子（丹波県民局長）
環境管理局長	秋山 和裕（水大気課長）
自然環境課長	中谷 康彦（森林動物研究センター業務部副部長）
豊かな森づくり課長	今里 卓（自然環境課長）
水大気課長	春名 克彦（環境整備課長）
環境整備課長	正賀 充（環境影響評価室長）

### (4) 地域が元気な兵庫づくり 元気なふるさと兵庫づくりの実現に向けた施策を推進するため

こどもの館館長兼企画県民部参事（ふるさとづくり担当） 横山 佐和子（県民文化局長）

地域再生大作戦の展開や観光ツーリズムの振興など、地域の魅力と活力の増進を図るため

地域振興課長	西 喜生（地域再生課長）
観光交流課長	松森 章子（観光振興課長）
観光振興課長	西影 宗明（教委・スポーツ振興課参事）

## 3 地域課題への的確な対応

地域課題に対応し、多様性と地域特性を活かした特色ある地域づくりを推進するため

阪神北県民局長	多木 和重（県立美術館副館長）
東播磨県民局長	真木 高司（福祉監）
北播磨県民局長	赤木 正明（産業振興局長）
丹波県民局長	藤原 一（住宅建築局長）

注）県民センターへ移行する3県民局については、現県民局長を県民センター長として引き続き配置

## 4 女性職員の積極的な登用

本庁課室長級以上に、意欲ある女性職員を積極的に登用し、平成13年度（清原桂子県民生活部長）以来の女性本庁部長。また、全ての本庁課室に女性職員を配置

[ 本庁部長 ]

環境部長 梅谷 順子（丹波県民局長）

[ 10級 ]

こどもの館館長兼企画県民部参事（ふるさとづくり担当） 横山 佐和子（県民文化局長）

[ 8級 ]

楽農生活室長	羽瀧 維子（新温泉農業改良普及センター所長）
宝 健康福祉事務所福祉室長	加藤 さと子（阪神北県民局県民協働室主幹）
明石健康福祉事務所健康参事	松下 清美（健康増進課副課長）
職員健康管理センター所長	戎谷 亜希子（医務課主幹）
病院局管理課参事（看護担当）	檜垣 美香子（光風病院看護部長）

## 5 若手職員の積極的な登用

組織・人事の一層の活性化を図るため若手職員を積極的に登用

ビジョン局長

坂本 哲也（ビジョン課長）

## 6 監査委員事務局長など

行政経験豊富な人材、専門的知識を有する人材の活用

監査委員事務局長

杉原 基弘（防災企画局長）

出納局長

大塚 悦夫（神戸県民局副局長）

## 7 病院局の体制整備

県下において高度専門・特殊医療を中心とした政策医療及び地域医療を引き続き円滑に提供するため

県立加古川医療センター院長

小川 恭弘（高知大学医学部教授）

県立西宮病院副院長

小林 研二（近畿中央病院副院長）

県立西宮病院副院長

鴻野 公伸（県立西宮病院救命救急センター長）

県立加古川医療センター副院長

当麻 美樹（県立加古川医療センター救命救急センター長）

県立光風病院副院長

葛山 秀則（県立光風病院診療部長）

県立こども病院副院長

前田 貢作（自治医科大学とちぎ子ども医療センター副センター長）

県立がんセンター副院長

富永 正寛（県立がんセンター診療部長）

県立粒子線医療センター副院長

沖本 智昭（北海道がんセンター放射線診療部長）